

国際交流やまがた

INTERNATIONAL EDUCATIONAL EXCHANGE IN YAMAGATA



巻頭言

グローバル時代を生きる —高い志、徳、燃える闘魂—

山形大学 副学長（国際交流担当）安田弘法

「われ太平洋の橋たらん」。これは明治14年（1881年）に札幌農学校を卒業し、東京帝国大学に入学された新渡戸稲造博士が、「あなたは何のために勉強するのですか」と文学部教授から面接試験で聞かれ、答えられた言葉です。博士の高い志の一端が示されているように思います。新渡戸博士は、「日本には宗教教育がない」とベルギーの法学者ラヴレー博士に話し、「宗教教育なしで、どうやって道德教育を授けるのか」とラヴレー博士から問われ驚かれたとのこと。そして、自分に善悪の観念を吹き込んだのは武士道であることに気づき、明治33年（1900年）に英語で「Bushido: The Soul of Japan」を執筆されました。これはルーズベルト大統領を初め多くの外国人に感銘を与えたそうです。

グローバル化とは、「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「情報」が国境を越えて移動し、人口・環境・エネルギー等の諸課題を地球規模で捉える時代状況です。日本が、このグローバル化に如何に適応して進化するか、これは21世紀の日本の運命を決めるといっても過言ではありません。日本航空（JAL）を再建された京セラの稲盛会長は、「日本の再生に必要なのは、「燃える闘魂」と「徳」、さらには「高付加価値」の獲得を目指した経済のあり方である。まず、困難な目標を自ら高く掲げ、その実現に果敢に向かう激しい闘志、「燃える闘魂」を持つこと。また、我々日本民族は古来、人間の「徳」を大切にしてきた民族だ。燃える闘魂を持ち、高品質の製品・サービスを提供し、「徳」をベースにした国作りで日本の再生は可能である」と述べておられます。これはグローバル時代の日本と日本人の生き方に示唆を与えているように思います。

私事で恐縮ですが、2005年に鶴岡市で国際会議を主催しました。国際会議の開催地は、総会で誘致演説を行い決定されます。鶴岡市での国際会議を誘致するためポルトガルの会議で演説しました。「何故、日本で国際会議を行う必要があるのか。ヨーロッパや米国で十分だ。日本でやる必要はない」とドイツ人研究者が発言。ベルギー人の会長は、「安田グループの研究レベルは極めて高い。日本開催に何ら異論はない」と反論。さらなる協議と投票で、日本開催が決まり、ドイツ人研究者から「申し訳なかった」と言われました。グローバル時代、世界を相手に立ち向かうには世界が認める実績を持つことも必要だと感じました。

温故知新。グローバル時代を生きるにあたり、我々が今、幕末、明治、大正、昭和の日本と日本人の生き方を尋ね、今一度、我が先達の生き方を学ぶべき時と、私は思います。「武士道」の「正義、勇気、仁、礼儀、誠意、名誉、忠誠」は、日本民族の生き方の指針の一つです。「われ太平洋の橋たらん」。高い志、徳、燃える闘魂を持ち、高付加価値ブランドの物作り。私は、これらは日本と日本人が「グローバル時代を生き」、世界をリードするための要件に思います。

日本と私

東北芸術工科大学
映像学科 1年

馬 世美(マ セミ)



私は韓国の大田という都市で一人っ子として生まれました。両親は毎日仕事で忙しくて、家に一人でいる時間が多かったです。友達もあまりいなかった。なので自然にテレビによく接しました。テレビでは日本のアニメーションが24時間放映されていました。私は日本のアニメーションに夢中になりました。日本のアニメーションを観る間は、本当に寂しさを感じられないくらい集中しながら観ました。それで日本の漫画にも興味を持つようになりました。

その後、だんだん一人で絵を描きながら、私もアニメーションと漫画を作ってみたい、と考えるようになりました。その気持ちを持って小学生、中学生の時にはほとんど絵を描きました。

それを見た母は、子供の頃から私に美術的な感覚があることを悟ってくれて私を応援してくれました。しかし、父は美術を勉強することに反対しました。その理由は、世界的に美術を志す人が少なくないのにその人達を採用する仕事が少ないから職業を持って生きていくのが大変かもしれないと考えたのです。それで母と父は私の将来のことで意見衝突がありました。しかし結局、私が中学生の時、美術大会に出て多くの賞をもらったことを見た父は、美術及び漫画・アニメーションを勉強することに賛成してくれました。

それから、大田にある芸術高校の漫画・アニメーション学科に入学しました。学校でより専門的な知識と技術を勉強しました。学校の先生は私の絵を見て、いい感覚を持っていると言いました。韓国もいけれども、より広い所に出て勉強するのはどう、と聞かれて私はその時、子供の頃から考えていた日本への留学を思い出しました。そして、日本への留学を決めました。

両親に留学のことを言いましたが、両親は学費を自分で負担する条件で賛成してくれました。私もその条件を承諾しました。その時から留学の準備が始まりました。高校2年生の時から日本語の塾でJLPTとEJUと会話に重点を置きながら勉強しました。

2年間勉強して、最初に京都造形芸術大学の受験を受けました。ソウルで面接を行いました。この状態では日本の大学に入ることができない、と聞いて漫画・アニメーション学科がある他の大学を探している時に山形の東北芸術工科大学を知りました。学校の環境の写真を見て本当に行きたいと考えました。それで受験しました。最終結果が出るまではすごく心配しました。落ちるかもしれないという気持ちで毎日緊張している生活でしたが、合格しました。青い空で飛んでいる鳥の気分のように嬉しかったです。色々準備して2012年3月25日、山形にきました。想像以上に田舎でびっくりしました。面白い店もあまりないし、何よりも交通が一番不便でした。夜遅い時間はバスの運行が終わってしまうからそれが不満です。また、部屋の中が韓国より寒くて適応するのが難しかったです。暖房がないと本当に死ぬかもしれないくらいですね。

しかし、勉強するにはいい環境だと思って、現在、一所懸命に勉強しながらアルバイトもしています。今年の4月に2年生になりますが、これからの3年間アニメーション及び映像をもっと一所懸命に勉強したいと思います。最近では実写作業に興味があって、映画を観ることやカメラで撮影することに夢中になっています。卒業後は映像やメディア関連の仕事をしている会社に入りたいです。その時まで頑張りたいです。

留学生活を楽しもう

山形大学大学院
社会文化システム研究科
社会システム専攻 2年

肖 朗(ショウ ロウ)



留学は小さい頃からの私の大きな夢でした。慣れている環境から飛び出して、知らない国で暮らす生活はきっと毎日ドキドキし、素敵な出会いが溢れているだろうと思いました。その憧れの気持ちを持って、26年間暮らしてきた中国のハルビンを離れ、山形での新しい生活を始めました。

留学生活は決して楽ではないです。言語面、生活面、学業など様々な困難がきっとあるだろうと思います。でも、留学生活の楽しさや面白みは、勇気を出して頑張り続け、壁を乗り越えたときの喜びにあると思います。

来日してまもなく、入学の手続きのために、先輩が私を学校の事務室に連れて行ってくれました。私はその時日本語を話せなかったため、先輩が代弁者となってくれて、私はずっと無言でした。事務室の方が熱心に手続きをしてくれた後、感謝の気持ちを自ら伝えたくて、事務室の方に「ありがとうございます」と言いました。事務室を出て、先輩が「ありがとうございます」という言い方は失礼だよ。「ありがとうございます」と言うのが適切な言い方だね。」と話してくれました。自分の感謝の表現が失礼にあたると思われる、この時の悔しい気持ちは今でもはっきり覚えています。今の私は、まだ日本語が上手とは言えないですが、普通にコミュニケーションをとれるようになりました。そこから、留学生活をもっと、もっと楽しめるようになっていきます。

アルバイトと勉強を両立させて、様々な活動に参加することも留学生活の楽しみのひとつです。留学生だけの旅行、日中友好の交流活動、そして花笠祭りのガイド役、蔵王スキージャンプワールドカップに随行しての通訳など、どれも私にとって貴重な思い出、心の宝物になりました。その中での人との出会いと関わりも一生の宝物になりました。

留学生活の中では、勉強とアルバイトだけではなく、いろいろな場面に飛び込み、様々な可能性を楽しみましょう。きっと輝く自分と素敵な留学生活を実現できます。

新しい人生新しい経験

鶴岡工業高等専門学校
機械工学科 3年

ケネフ ジョスタン ジュニア



時間が経つのは本当に早く、日本に来てもう一年間になりました。この一年間で本当に色々な経験をしました。

二十年前は日本に来ると言うことは叶わない夢だと思っていました。しかも、日本人の友達を作ることはあり得ませんでした。しかし今、その夢は現実になり、友達もたくさん出来ました。最初は日本人と話すのはとても難しかったです。周りのみんなが恥ずかしがり、そして自分の日本語もそんなに上手ではなかったか

らです。しかし、先生のアドバイスのおかげで自分に自信が付き、日本人と話することができるようになりました。

また、マレーシアでは雨と晴の季節が少ないため雪は全く降りません。そのため、初めて雪を見た時はすぐに小さい雪ダルマを作っていました。冬はとても寒いので、服を何枚も着ないと凍りつきそうなくらいで、こんなに寒いとは思っていませんでした。しかし、そんな冬でも、スノーボードができる場所は好きです。スノーボードはとても楽しく、滑ることができるのかっこよく感じられます。

私の住んでいる鶴岡は、風がとても強いところとしても知られておりちょっと心配でした。時には、人を飛ばすぐらいの強い風もありました。それだけでなく、鶴岡にはたくさんの歴史もあり、たくさんの自然に囲まれています。先生や日本人の友達からも少し歴史について教えてもらいました。

これからも、鶴岡での生活を通して様々な経験をしたいと思います。人生は一つしかないもので、楽しく有効に使わないともったいないです。

挨拶の大切さ

東北文教大学短期大学部
総合文化学科 2年

全 敬梅(ゼン ケイバイ)



山形に来る前、日本や日本人に対する印象として、「サービスがいい」、「電機製品が丈夫」、「礼儀正しい」などということを知っていました。実際に私が山形に来て、特に感じたことは日本人が礼儀正しいということでした。

来日したばかりのころは、日本語があまり上手ではなかったのですが、話をするのが嫌いでした。でも、外に出かけると、知らない

人に挨拶されたり、「今日は天気いいですね」などと話かけられてしまいます。中国で知らない人に話かけるとおかしい人だと思われがちですが、日本では当たり前のごとで、挨拶や天気の話から始めて、本題に進めるし、挨拶のおかげで、知らない人ともコミュニケーションできます。私も最近では、出かけるときに、知っている人か知らない人かかわらず、挨拶をするようになりました。

また「日本ではどんなことも挨拶から始める」と聞いていましたが、私はアルバイトをして初めてこのことが理解できたと思います。アルバイト先では、店に入ってから同僚に挨拶して、「今日も一日よろしくお願ひします。」と言います。仕事が終わったら、「お疲れ様でした、お先に失礼します。」と言って帰るのです。挨拶のおかげで同僚と一緒に仕事をすることが楽しくなった気がします。簡単な言葉なのに、不思議な力を持っていると思います。

1時間に1本しか電車が来ない不便な田舎ですが、山形では様々な伝統を守っているし、知らない私たちにも挨拶をしてくれて、都市部ではあまり経験できない交流ができました。山形に留学してよかったと思います。

山形県留学生交流推進協議会 第24回総会・第40回運営委員会(合同会議)

第24回山形県留学生交流推進協議会総会及び同協議会第40回運営委員会が、平成24年11月8日(木)に山形大学にて開催されました。

会議では、文部科学省による所管事項説明のほか、山形県における留学生の受入及び留学生支援等について話し合いが行われました。



県民と外国人留学生との交流会

県民と外国人留学生との交流会

第24回山形県留学生交流推進協議会及び同協議会第40回運営委員会の合同会議の終了後、『県民と外国人留学生との交流会』が開催され、留学生による歌が披露されるなど穏やかな雰囲気の中で相互の交流を深めました。

山形県留学生交流推進協議会 事務担当者研修会

今回で6回目となる山形県留学生交流推進協議会事務担当者研修会が、平成24年12月13日(木)に、山形大学を会場に開催され、6つ機関から16名が受講しました。

この研修会は、各高等教育機関の職員が留学生の資格外活動等についての入国管理局への申請取次を行うための資格を取得し、留学生への便宜を図ることを主目的として開催しているものです。

研修会では講師として法務省仙台入国管理局審査部門・工藤信裕総括審査官と白取俊浩上席入国審査官を迎え、留学生に係る審査関係や取次制度、新しい在留管理制度等について説明が行われました。



新たな在留管理制度について

(財)中島記念国際交流財団助成事業 「日本」を知ろう! そして「山形」で働こう!

(財)中島記念国際交流財団様から助成を受けて、留学生地域交流事業として『「日本」を知ろう!そして「山形」で働こう!』を実施しました。次の4つの事業を実施しました。

- ① インターンシップを希望する留学生と企業とのマッチングをするための事前面談を実施しました。延べ12名の留学生が参加しました。
- ② 7月から9月にかけて県内企業での留学生インターンシップを実施しました。延べ10名の留学生が参加しました。
- ③ 留学生を対象とした就職セミナーを開催し、36名の留学生が参加しました。挨拶やおじぎの仕方、面接時の注意点などについてお話がありました。引き続き、留学生の就職活動での留意点などについて説明を受けた後、既に国内企業への就職が内定している3名の留学生をパネラーとして経験談などをお聞きしました。
- ④ 県内企業12社の参加を得て、留学生のための合同企業説明会を開催しました。留学生が各ブースを訪問し担当者から採用条件などについて説明を受けました。どのブースも終了時刻まで説明を聞く留学生が絶えませんでした。



合同企業説明会の様子



就職内定者を囲んだ座談会

支援団体の紹介

特定非営利活動法人 山形県青年海外協力協会

「絆プロジェクトでの学生交流」

山形県青年海外協力協会は協力隊山形県OB会として昭和50年に発足し38年目になります。平成14年にはNPO法人の認定を受け、「青年海外協力隊体験の地域への還元」を柱に、協力隊募集啓発事業・山形県海外技術研修員への日本語集中講座・海外青年招へい事業などの活動を実施しています。

海外の学生・青年を山形県に招へいする事業の受託は、昭和62年の「21世紀のための友情計画」から始め、昨年の「絆プロジェクト」へと継続しています。これまで約700名のアジア諸国の学生・青年が山形に滞在し、様々な研修と交流を体験しました。

2012年10月の絆プロジェクトでは、29名のブータン・ネパールの大学生が来県し、山形大学、東北芸術工科大学、東北文教大学の学生の皆さんとの蔵王での合宿セミナーや大学訪問、授業参加、そして一般家庭へのホームステイと盛り沢山の日程で交流を深めました。

合宿セミナーでは山形大学と東北芸術工科大学の皆さんから「スマイルエンジン山形」の発表をしていただき、ブータン・ネパールの学生たちは深い共感を得て帰国いたしました。

絆プロジェクトに参加していただいた学生の皆さん、受入のご協力をいただいた各大学の皆様に心から感謝申し上げます。

「若者よ、海外に出よ」「たとえ海外で成功しなくとも、一定期間、日本を外側から見るという体験は、何にもまして重要なはず」

この言葉は、2010年のノーベル化学賞を受賞した根岸栄一さんがインタビューで話されました。若者の海外離れと言われていますが、これからの日本にますます必要な異文化コミュニケーション力、他言語でのプレゼンテーション力を身につけよう、という内容に多くの方がうなずきました。まさに「若者よ、海外に出よ」、そして「協力隊に行こう」です。

私たちは協力隊体験で、「あの国のあの町のあのひと、私」の生きた人間関係が大切なこと、そして、その繋がりの上に異文化を超えた、相互理解と信頼のネットワークが生まれることを知りました。OB・OGの中で広く言われている言葉があります。「協力隊は、帰国してからが協力隊」これからも活動を続けてまいります。



東北芸術工科大学訪問



蔵王文化交流

山形大学

短期留学生受入プログラムを実施

山形大学では、平成24年8月20日（月）から8月31日（金）までの2週間にわたり中国とベトナムから短期留学生を受け入れ、日本人学生も含めた3ヶ国の学生が交流し相互理解を図るために、山形大学独自の「短期留学生受入プログラム」を実施しました。

プログラムに参加したのは、ハノイ農業大学（ベトナム）から15人、カントー大学（ベトナム）から5人、延辺大学（中国）から10人、本学学生8人の合計38人。日本文化体験（茶道、そば打ち、花笠、新庄まつりへの参加）、相互理解のためのグループワーク、蔵王登山、ホームステイ、日本・山形を理解するための「街歩き」、各キャンパスでの専門分野に関するプログラムなどに参加しました。参加した留学生からはどのプログラムもたいへん好評で、日本を満喫し日本を深く理解し帰国しました。今回参加した学生が、将来、山形大学に留学することが期待されます。

また、参加した本学学生にとっても異文化に触れるよい機会となりました。彼らの海外への留学意欲も高まりました。

グローバル社会を生きる私達は、地球規模で諸課題を把握し他国の人々との相互理解が不可欠です。そして、多くの国の文化や歴史、習慣を学び、諸外国と諸外国人を多面的に理解する必要があります。このためには、海外からの留学生を受け入れることや学生を海外に留学させることは重要な取り組みであると考えています。山形大学では、こうした短期留学生受入プログラムの他にも、山形大学の学生をハノイ農業大学に2週間派遣するプログラムを実施し、学生の海外留学への動機づけを図る取り組みを行っています。



花笠踊りに挑戦!



「街歩き」での意見発表

交流風景

日本語スピーチコンテスト



日本語スピーチコンテスト
(主催:山形霞城ライオンズクラブ 共催:山形県留学生交流推進協議会)



留学生との交流会：縄文土器で芋煮会
(東北芸術工科大学)



世界をのぞけば(ロシア編) (山形県国際交流協会)



山寺焼体験 (東北文教大学)



日本文化体験 (山形大学)



休暇村羽黒でそば打ち体験
(鶴岡工業高等専門学校)



外国人留学生・研修生のための異文化交流事業
(国際コミュニケーションレディズクラブ)

地方別・都道府県別留学生数 (独立行政法人日本学生支援機構)

平成24年5月1日現在
(単位：人)

地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数	地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数			
北海道	2,737 (2,734)	2.0% (2.0)	北海道	2,737 (2,737)	近畿	25,691 (24,807)	18.6% (18.0)	三重	946 (1,025)			
								滋賀	454 (470)			
								京都	6,900 (6,246)			
								大阪	10,521 (10,325)			
								兵庫	5,128 (4,959)			
								奈良	1,463 (1,490)			
東北	3,385 (3,746)	2.5% (2.7)	青森	281 (413)	中国	6,821 (7,142)	5.0% (5.2)	和歌山	279 (292)			
			岩手	350 (375)				鳥取	183 (183)			
			宮城	1,872 (2,018)				島根	195 (230)			
			秋田	355 (292)				岡山	2,273 (2,516)			
			山形	225 (207)				広島	2,499 (2,647)			
			福島	302 (441)				山口	1,671 (1,566)			
関東	64,429 (64,088)	46.8% (46.4)	茨城	2,638 (2,713)	四国	1,309 (1,418)	1.0% (1.0)	徳島	332 (350)			
			栃木	1,075 (1,073)				香川	351 (378)			
			群馬	1,366 (1,571)				愛媛	462 (507)			
			埼玉	5,877 (6,013)				高知	164 (183)			
			千葉	5,290 (4,850)				九州	18,219 (18,699)	13.2% (13.5)	福岡	10,434 (10,635)
			東京	43,500 (43,188)							佐賀	292 (341)
			神奈川	4,683 (4,680)							長崎	1,461 (1,518)
中部	15,165 (15,441)	11.0% (11.2)	新潟	1,533 (1,592)	熊本	724 (667)						
			富山	567 (571)	大分	3,562 (3,873)						
			石川	1,570 (1,670)	宮崎	170 (167)						
			福井	288 (309)	鹿児島	968 (881)						
			山梨	841 (880)	沖縄	608 (617)						
			長野	774 (681)	計	137,756 (138,075)						
			岐阜	1,406 (1,353)								
			静岡	1,563 (1,679)								
愛知	6,623 (6,706)											

(注) ()内数字は、平成23年5月1日現在の数。

山形県外国人留学生の現況 (高等教育機関関係)

平成24年10月1日現在

(単位：人)

1. 費用別外国人留学生数

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
国費	17 (7)	1 (1)						4 (0)		22 (8)
マレーシア政府派遣	24 (2)							6 (0)		30 (2)
私費	169 (82)	9 (4)		2 (2)	14 (11)				1 (0)	195 (99)
計	210 (91)	10 (5)	0 (0)	2 (2)	14 (11)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	1 (0)	247 (109)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

2. 国・地域別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
中国	96 (44)	2		1 (1)	7 (5)				1 (0)	107 (50)
韓国	22 (8)	6 (3)			7 (6)					35 (17)
マレーシア	28 (5)							6 (0)		34 (5)
モンゴル	5 (3)							3 (0)		8 (3)
インドネシア	6 (2)							1 (0)		7 (2)
タイ	7 (6)									7 (6)
台湾	6 (5)									6 (5)
アメリカ	5 (2)									5 (2)
ベトナム	3 (1)	1 (1)								4 (2)
ミャンマー	4 (2)									4 (2)
ルワンダ	4 (2)									4 (2)
バングラデシュ	3 (1)									3 (1)
ロシア	2 (2)									2 (2)
オランダ	2 (1)									2 (1)
インド	2 (0)									2 (0)
スリランカ	2 (0)									2 (0)
ウガンダ	2 (1)									2 (1)
イギリス	1 (1)									1 (1)
ラトビア	1 (1)									1 (1)
エストニア	1 (1)									1 (1)
ルーマニア				1 (1)						1 (1)
ホンジュラス	1 (0)									1 (0)
ジャマイカ	1 (0)									1 (0)
ガイアナ	1 (0)									1 (0)
ベネズエラ	1 (0)									1 (0)
ブルネイ	1 (1)									1 (1)
イラン		1 (1)								1 (1)
イスラエル	1 (0)									1 (0)
ケニア	1 (1)									1 (1)
シンガポール	1 (1)									1 (1)
計	210 (91)	10 (5)	0 (0)	2 (2)	14 (11)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	1 (0)	247 (109)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

3. 住居形態別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
大学の寮等	128 (66)			1 (1)				10 (0)		139 (67)
公営住宅	5 (0)									5 (0)
民間会社の社員寮										0 (0)
民間アパート等	73 (22)	10 (5)		1 (1)	8 (7)					92 (35)
その他	4 (3)				6 (4)				1 (0)	11 (7)
計	210 (91)	10 (5)	0 (0)	2 (2)	14 (11)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	1 (0)	247 (109)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

山形県留学生交流推進協議会会員名

	機関・団体名	職名等	氏名
高等教育機関	山形大学	学長	結城章夫
	東北芸術工科大学	学長	根岸吉太郎
	東北公益文科大学	学長	町田睿
	慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス	所長	富田勝
	山形県立米沢女子短期大学	学長	遠藤恵子
	東北文教大学・東北文教大学短期大学部	学長	内田英子
	羽陽学園短期大学	学長	研攻一
	鶴岡工業高等専門学校	校長	加藤靖
	新庄コンピュータ専門学校	校長	山科通
国及び地方公共団体	山形地方法務局	局長	酒井修
	仙台入国管理局酒田港出張所	所長	杉山俊也
	山形県	知事	吉村美栄子
	山形市	市長	市川昭男
	米沢市	市長	安部三十郎
	鶴岡市	市長	榎本政規
	酒田市	市長	本間正巳

	機関・団体名	職名等	氏名	
経済団体	山形県商工会議所連合会	会長	清野伸昭	
	山形県商工会連合会	会長	小野木 覚	
	山形経済同友会	代表幹事	熊谷真一	
	(社)山形県経営者協会	会長	黒澤洋介	
	山形県農業協同組合中央会	会長	長澤 豊	
	山形県中小企業団体中央会	会長	山本 惣一	
	(公益社団法人)日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会	会長	柴崎 稔	
	(財)山形県国際交流協会	理事長	高橋 節	
	山形県青年海外協力協会	会長	櫻井 信	
	庄内国際交流協会	会長	山口吉彦	
国際交流関係団体	山形ロータリークラブ	会長	伊藤吉明	
	山形北ロータリークラブ	会長	庄司建郎	
	ライオンズクラブ国際協会 (332-E地区キャビネット事務局)	地区ガバナー	永沢俊秋	
	国際コミュニケーション レディーズクラブ	会長	井上みやま	
	(社)米沢工業会	理事長	結城経治	
	(財)出羽庄内国際交流財団	理事長	榎本政規	
	国際日本文化研究会	会長	飯島武久	
	アースネットワーク米沢	会長	情野芳明	
	その他	(独)日本学生支援機構東北支部	支部長	鈴木研一

(順不同・敬称略)
(平成25年1月1日現在)

INTERNATIONAL
EDUCATIONAL
EXCHANGE IN YAMAGATA

山形県留学生交流推進協議会運営委員会委員名

機関・団体等名	氏名
山形大学 副学長	安田弘法
東北文教大学・東北文教大学短期大学部 国際教育センター 長	阿部いそみ
山形地方法務局 人権擁護課長	富樫裕幸
山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室長	島貫 誠
山形市総務部国際交流センター所長	矢萩 栄次郎
山形県商工会議所連合会 幹事	三澤 栄治
山形経済同友会 副代表幹事	谷貝 幹夫

機関・団体等名	氏名
山形県中小企業団体中央会事務局 長	作田和典
山形県国際交流協会総務企画部長	安達孝義
山形県青年海外協力協会 理事	吉田庸一
山形ロータリークラブ 幹事	長谷川 憲治
山形北ロータリークラブ 会長	庄司建郎
山形大学 渉外部 部長	永井義武
山形大学 渉外部 渉外課 長	矢口 清

(順不同・敬称略)
(平成25年1月1日現在)

高等教育機関等のホームページアドレス

- 羽陽学園短期大学
- 慶義塾大学鶴岡タウンキャンパス
- 新庄コンピュータ専門学校
- 鶴岡工業高等専門学校
- 東北芸術工科大学
- 東北公益文科大学
- 東北文教大学・短期大学部
- 放送大学山形学習センター

- http://www.uyo.ac.jp/
- http://www.ttck.keio.ac.jp/
- http://sca.core.ac.jp/
- http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/
- http://www.tuad.ac.jp/
- http://www.koeki-u.ac.jp/
- http://www.t-bunkyo.jp/
- http://www.ouj.ac.jp/

- 山形県立産業技術短期大学校
[山形校] http://www.yamagata-cit.ac.jp/index3.html
[庄内校] http://www.shonai-cit.ac.jp/
- 山形県立農業大学校 http://ynodai.ac.jp/
- 山形県立保健医療大学 http://www.yachts.ac.jp/
- 山形県立米沢女子短期大学 http://www.yone.ac.jp/
- 山形工科短期大学校 http://www.yit.ac.jp/
- 山形大学 http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html
- 山形県 http://www.pref.yamagata.jp/

2013-1
No. 24

山形県留学生交流推進協議会

事務局 山形大学渉外部渉外課国際交流室内 所在地 山形市小白川町一丁目4番12号
TEL 023-628-4118 FAX 023-628-4849 E-mail rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp